

令和2年9月14日

報道関係各位

公立大学法人奈良県立医科大学
一般社団法人 MBT コンソーシアム

新型コロナウイルスに対する研究成果について

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、奈良県立医科大学（橿原市：理事長・学長 細井裕司）及び一般社団法人 MBT コンソーシアム（橿原市：理事長 細井裕司）は新型コロナウイルスに対する研究成果を挙げる事ができましたので、学問的に正確な情報提供のため下記のとおり記者発表いたします。

記

【発表内容】

柿渋による新型コロナウイルスの不活化について

【出席者】

免疫学 教授 伊藤 利洋（発見経緯の説明、ポピドンヨード研究との相違説明）

感染免疫研究を専門とし、柿渋が難治の非結核性抗酸菌症に有効であることを国際医学誌に掲載などの成果報告を行ってきた。今回、柿渋が新型コロナウイルスに有効であることを発見し、矢野教授とともに実験的に証明した。〈当日配布資料あり〉

微生物感染症学 教授 矢野 寿一（実験内容の説明）

オゾンが新型コロナウイルスを不活化することを世界で初めて実験的に証明した。その後も MBT コンソーシアム企業の製品・サービスに対して、コロナへの有効性の医学的検証などを行っている。〈当日配布資料あり〉

理事長・学長(MBT コンソーシアム理事長) 細井 裕司(今後の展開・製品化企業公募について)

医学的知見を産業に生かすことを目的として、126社が参加する MBT コンソーシアムを設立。多岐にわたるコロナ対策を主導している。本研究成果の製品化によって世界に貢献できる企業の公募を行う予定である。〈当日配布資料あり〉

(注) MBT: MBT コンソーシアムで検索 URL: <http://mbt.or.jp/>

【発表日時】

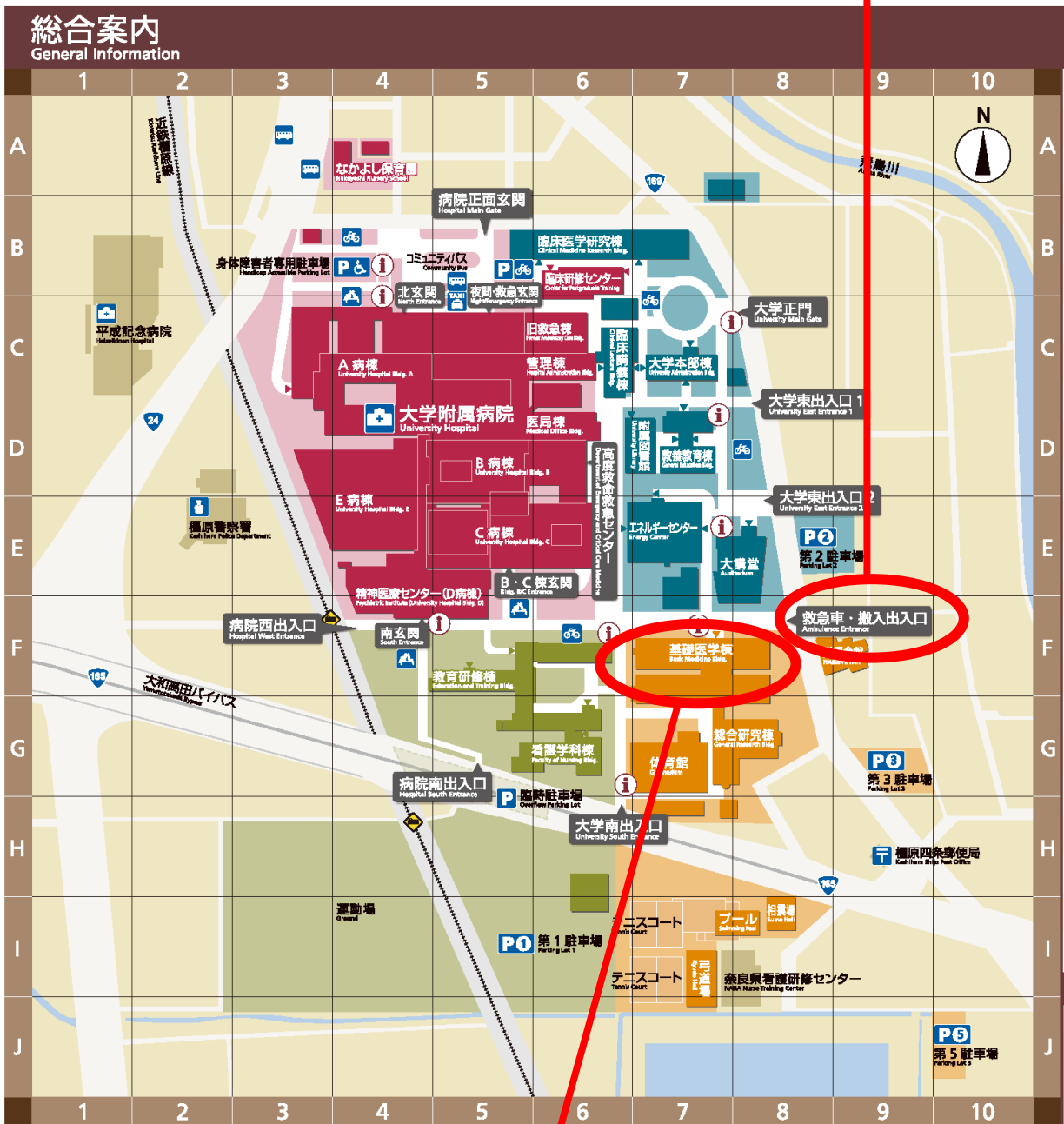
日時: 9月15日(火) 10:30～

場所: 奈良県立医科大学 基礎医学棟5階小講義室

※お車でお越しの場合は、救急車・搬入出入口から進入していただき、大講堂前のスペースにお停めください。(裏面構内図参照)

公立大学法人奈良県立医科大学
研究推進課 産学連携推進係
担当: 阪田・澤井 TEL: 0744-22-3051(内線: 2552)

駐車スペース入り口



10:30 ~ 5階 小講義室